

国際食資源学院

外国語教育の方針と学生の外国語能力向上のための取組

1) 外国語能力の到達目標

入学試験における英語外部試験の活用方法を再検討しているところであり、修了時の英語能力の到達目標とも連動させて到達目標を設定する見込みである（現在検討中）。

2) 外国語能力を向上させるために実施する取組

- ・英語学習プログラムの見直し。
- ・在学中の海外での活動を促進するため、海外インターンシップやフィールドワークを単位として認定できるようにする。

3) 外国語能力を把握するための取組

入学試験出願時の提出書類として、受験者全員に英語外部試験のスコアシートを提出させている。

修了時までには英語能力がどのくらい向上したかを把握するため、英語外部試験の受験を必須とするべく、方法の検討に入っている。

4) 取組の実施予定時期

2020年度入学者より実施。

学生の国際性を涵養できた実例

実例 1

本学院では、すべての授業を英語で行い、英語のみで学位が取得できるほか、海外で実施するワンダーフォーゲル実習を必修としている。

学生 A は、1年次にワンダーフォーゲル実習 I（デンマーク）、ワンダーフォーゲル実習 II（ミャンマー）を体験し、大学院共通科目の PARE プログラムにも参加して課題意識を高め、2年次でトビタテ！留学 JAPAN プログラムに申請して留学と海外インターンシップに参加することを決めた。海外インターンシップはその内容から、選択必修科目ワンダーフォーゲル実習 V として認定され、修士論文作成のための重要な研究活動となる予定である。